

調査項目「自治会の活性化策」

1. はじめに

自治会は地域住民が協力して安心・安全で住みやすい環境をつくるために必要な組織である。また自治会の活動を通じて住民同士のつながりを強め、防犯、防災だけでなく、住民の孤立を防ぎ、地域の課題を共有・解決する役割を果たしている。

しかしながら、自治会加入率の低下や自治会構成員の高齢化、役員の担い手不足などの課題が本市でも顕在化し、その解決にあたり、行政で行うことができる支援を考える必要があることから、民生常任委員会として「自治会の活性化策」を調査テーマに決定した。

2. 調査経過

日 時	活 動	概 要
R 7. 2. 3	視 察	島根県出雲市 ・出雲市自治会等応援条例における取り組み
R 7. 2. 6	分野別意見交換会	「自治会の活性化策」をテーマに「箕面市の自治会を考える会」と意見交換
R 7. 5. 10	地域別意見交換会	市内3箇所にて開催 「自治会の活性化策」をテーマに、グループディスカッション形式で意見交換

3. 調査報告と提案

(1) 自治会組織の体系化と自治会支援アドバイザー事業の取り組み

視察に行った出雲市では、世帯→単位自治会→自治協会（おおよそ小学校区）→自治協会連絡協議会（本市でいう箕面・萱野・豊川・止々呂美）→出雲市自治会連合会と自治会組織を体系化し、地域コミュニティ形成の推進と行政との連携を図っている。また、自治会の体制や運営に関する課題に対して専門家の指導や助言を受けながら、解決方法を導き出す自治会支援アドバイザー事業を創設し、モデル自治会に対し取り組みを進めている。これらの取り組みは本市において非常に参考となった。

（２）行政の役割について

自治会が抱える課題は地方自治体としての課題と共通する。その課題を的確に把握するためにも、自治会からの意見に耳を傾け、地域特性に合った支援策を考える必要がある。あわせて、他市の成功事例など積極的に情報収集に努め、地域課題に応じた情報提供や講習会の開催を実施し、住民リーダーの育成や活動内容の改善を提案できるようにしなければならない。

４．おわりに

出雲市から説明を受けた中で、「時代は令和、自治会は昭和」という現状を的確にとらえた言葉が委員全員の胸に刺さった。自治会の活動において、時代に即した形に変えることも必要で、自治会員だけでなく、自治会に加入されていない市民からの声も反映しなければならない。